

1 水道料金はどのような考え方で決められているの？

水道事業は「水道料金」で運営されています

札幌の水道事業は、札幌市が運営しています。
水道事業の運営に必要な経費の大半は、「税金」ではなく、利用者の皆さまにお支払いいただいている「水道料金」によってまかなわれています。

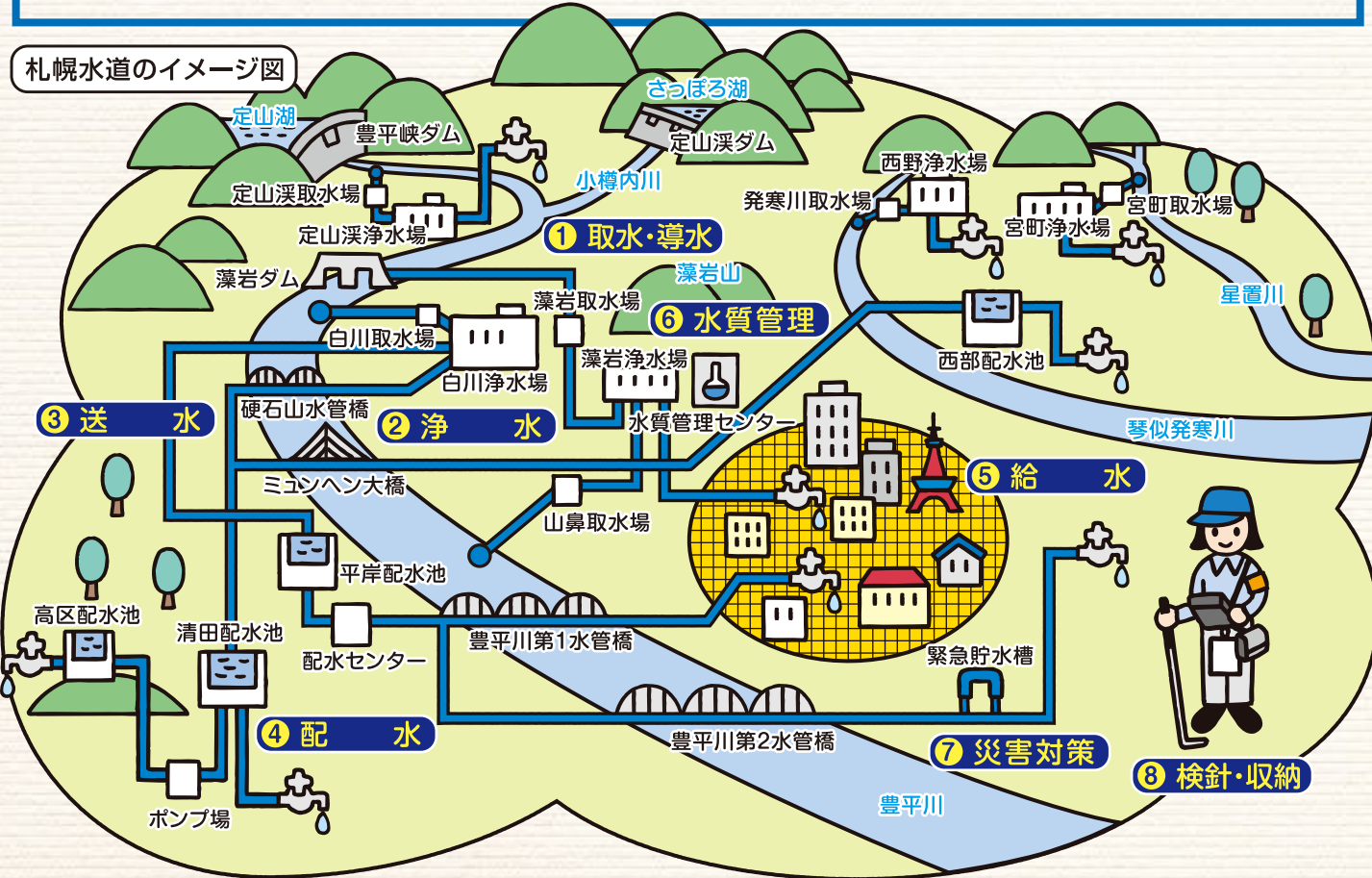


経費のほとんどを水道料金でまかなう「独立採算制」をとっています



そうなんだ

皆さまのもとへ水をお届けするためには、多くの工程が必要です



① 取水・導水

ダムや川といった水源から水道水のもととなる水を取り入れ、浄水場へ送ります。

② 浄水

水源から取り入れた水に含まれる砂や濁りを取り除き、消毒して、きれいな水道水をつくります。

③ 送水

浄水場で処理した水道水を配水池へ送ります。

④ 配水

水道水を安定してお届けするよう、配水池でいったん水を貯め、水量・水圧を調整し、市内に網目状に整備された配水管に送ります。

⑤ 給水

水道水を配水管から給水管へ引き込み、ご家庭の蛇口まで送ります。

⑥ 水質管理

常に安全でおいしい水を供給するため、定期的に水質を検査するなど、水道水の水質の管理を行います。

⑦ 災害対策

災害に強い施設にしたり、緊急貯水槽などにより緊急時の水を確保します。

⑧ 検針・収納

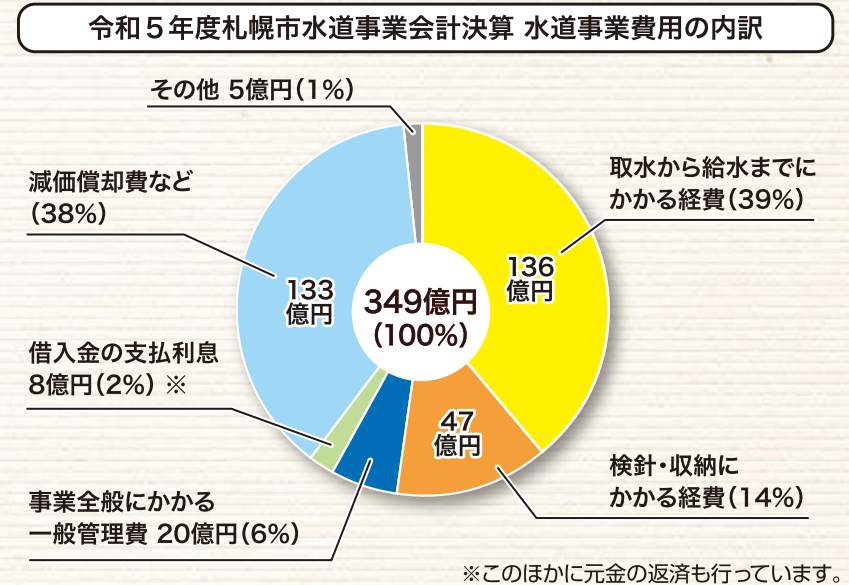
利用者の皆さまの水道メーターを検針して使用量を確認し、料金を納めていただきます。



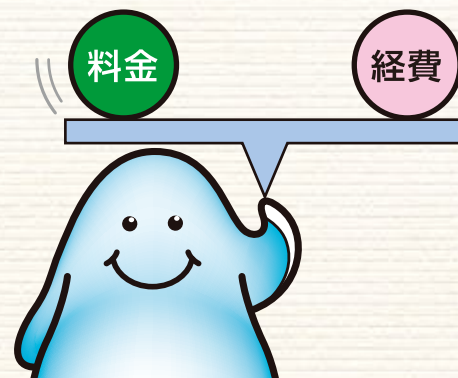
安全な水を安定してお届けするためには、さまざまな経費がかかります

水道事業を運営するためには、取水から給水までにかかる経費や、メーターの検針や料金の収納にかかる経費など、さまざまな経費がかかります。

そのほか、施設を整備するために借りた借入金の利息の支払い（支払利息）や、年月の経過による施設の価値の減少（減価償却費）といった経費もかかります。



必要な経費をまかなえるように水道料金は設定されています



水道料金は、上記のようなさまざまな経費をまかなえるように設定されており、利用者の皆さまが使用した水の量に応じてお支払いいただいております。

なお、経費の中には、検針をするための経費のように、使用された水の量に関係なく発生する経費がありますので、このような固定的な経費があることをふまえ、水道料金は、基本料金と従量料金に分けて設定されています。
(5ページ「なぜ基本料金があるの?」をご覧ください)

参考 札幌市水道局のこれまでの取組

●経営の効率化

事務事業のあり方を見直し、メーターの検針や漏水調査などの業務の委託化や、料金センター・配水管理事務所の庁舎を集約するなど、経営の効率化を進め、適切な人員配置を行ってきました。

この結果、ピーク時と比較すると令和5年度末では、職員数304人(約33%)、職員給与費約38億円(約51%)削減しました。

●財務基盤の強化

将来にわたって健全経営を続けていくために、新たな借り入れを抑えて、借入金残高を減らす取組を進めています。

この結果、平成12年度のピーク時には2,013億円あった借入金残高は、令和5年度末では505億円まで減少(約75%減少)しています。
(12ページ「長期的な視点で事業運営に取り組んでいきます」をあわせてご覧ください)